

## さるびあ通信

## 「出席簿には子ども一人一人のドラマが詰まっている」

八幡浜市教育委員会教育指導主幹 前田 英隆

教育委員会の職務の一つに「学校訪問」があります。校長からの説明や教職員との意見交換、授業参観、諸帳簿の点検等を通じて、学校の取組状況や課題を直接把握できるよい機会です。今年も16校の訪問が終わり、各学校の特色ある取組を感じています。

月末になると、学級担任は出席状況を報告するようになっています。欠席日数、遅刻、早退など、子どもたちの実態を確認するのです。学校ではこれを「月末統計」と言います。これも

学校訪問で行う点検項目の一つです。何の変哲もない帳簿ですが、月末にこの帳簿を見ると、いろいろなことが見えてきます。4月から6月にかけての3か月は春休みや5月の連休の関係で、ひと月以上が休日ということになります。学校に来ない日がそんなに多いのかと驚きます。

学級担任をしていた頃、この出席簿を眺めながら、子どもたちが元気に登校していることをうれしく思ったものです。欠席がないということは、本人の努力はもちろんのことですが、家族の方をはじめ、多く人の関わりがあつてのことです。感謝せずにはおれません。

転校していく子もいます。

A子もその一人でした。この年は1年間を通して学級で長なわの8の字ジャンプに挑戦しました。1分間に155回のペースで5分間跳び続けます。A子は運動が苦手でした。練習ではA子がひっかかることが多かったのですが、逃げずに最後まで跳び続けました。本番では見事に1回もひっかからずに跳びました。

A子は朝、いつも眠そうに登校してきました。雨の日はいつも「お母さん、雨の日も車で送ってくれんのよね。」と言っていました。転校するまで毎日休むことなく2kmの道を歩いて登下校しました。転校する直前、登校指導のとき、横断歩道で待つA子に「今日も眠そうやね。」と話しかけました。

「赤ちゃんが夜泣きするんです。お世話大変なんです。」

この言葉が今でも忘れられません。転校しても出席簿に名前は残ります。名前を見るたび、A子の幸せを願わずにはいられませんでした。そして、今、目の前にいる子どもたちがちゃんと見えているかと問い続けました。

出席簿に詰まった子どもたちのドラマを見逃さないように大切にしたい。そう思います。

## 第1回 八幡浜市いじめ対策委員会開催

令和3年度第1回八幡浜市いじめ対策委員会を6月29日(火)に市役所保内庁舎で開催しました。

はじめに役員選出を行い、会長に市公連会長の木下恵介氏(4年目)、副会長に市P連会長の梶原玉男氏(2年目)の留任が決まりました。1年間よろしくお祈りします。

各ブロックからの報告では、昨年度末、真穴中学校の閉校により、真穴ブロックは八代ブロックに所属し、本年度より4ブロックとなっています。なお、今年度の第1回のブロックの会は、新型コロナウイルス感染症「感染対策期」のために、4ブロックとも書面による立案、決裁ではありましたが、あいさつ運動や子育て教室の開催、地域独自の活動等、どのブロックも充実した活動が予定されていました。

そして、本年度の活動方針を決定するとともに、「いじめや虐待のないまちづくり」のための提言及び「情報通信機器の取扱いにかかわる提言」について確認しました。

今後とも、地域をあげて、子どもたちの健全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 今年度の活動方針(活動の方向)

- いじめをなくすため、「あいさつ運動」を推進する。また、児童生徒を対象に、いじめ根絶標語を募集し、入選標語を活用した啓発を実施する。
- 子どもの安全を確保し、児童虐待防止に努める。
- 児童生徒や保護者の不安や悩みを解消するため、教育相談や療育相談活動を推進する。
- 児童生徒等の実態を踏まえた取組を進めるための調査活動を実施する。
- 不登校又は不登校傾向児童生徒への適切な対応を進める。
- こころのふれあいやつながりを深める地域活動を進める。
- 集団生活を通してよりよい人間関係づくりに努める。
- 安全確保の意識を高め、事故防止に努める。

## ～令和3年度の八幡浜市いじめ対策委員を紹介します～

【会長】木下 恵介(市公民館連絡協議会会長)

【副会長】梶原 玉男(市PTA連合会会長)

竹内 秀明(市議会民生文教委員会委員長)

新地 利恵(市P連合会女性代表)

菊池 正(人権擁護委員代表)

平柳 勉(警察署生活安全課長)

二宮 賢光(市青少年補導員会会長)

井原 正晴(市社会教育委員会委員長)

水野 歩美(真網くじりハビリテーション院臨床心理士)

塩見 孝(市小・中学校長会会長)

藤本加寿夫(市生徒指導部会部長)

福富 洋子(市主任児童委員部長)

幸田 裕司(県ネットワーク協会代表理事)

中島 和久(愛宕ブロック子育ての会会長)

菊池 誠(八代ブロック子ども育成会会長)

阿部 権治(松柏ブロック子育て推進の会会長)

清水 達也(保内ブロック子ども育成会会長)

上記の他、市教育委員会及び関係課長7名、市事務局3名、各ブロック事務局4名



## 令和3年度 各ブロックいじめ対策委員会の活動

ブロック名	あいさつ運動	子育て教室等	地域(独自)の活動	広報活動	その他(安全)
愛宕ブロック 子育ての会	あいさつ運動 保護者、小中、地域との 連携	意見(情報)交換会	地域行事への参加 家庭内対話の充実		チーム白浜 まもり育てる日の活動 (年4回)
八代ブロック 子ども育成会	あいさつこだま運動 (6月以降、毎月20日) (あいさつこだま啓発旗の活用)	学期ごとの定例会の実施 定例会以外の情報共有 情報モラル(SNS)に関する 研修会	交通安全、不審者情報の共有 公民館活動やふれあい交流 会への参加の奨励 地引き網体験交流会		各小・中学校単位での 見守り活動 まもり育てる日の活動 (年3回)
松柏ブロック 子育て推進の会	あいさつふれあい活動 (6月以降、毎月5日)	ふれあいいきいき講座 (1月実施予定)	ふれあいクリーン作戦 (1月実施予定)	「あおぞら通信」の発行 (7・3月)	見守り隊 まもり育てる日の活動 (年3回)
保内ブロック 子ども育成会	あいさつ運動 (地域内挨拶の活性化) 6月～2月(毎月20日)	健全育成にかかわる情 報交換の充実	各地区をきれいにする運動 (小学校区単位で、6・10月 実施)	広報紙「ほ・な い」の発行 (12月)	見守り隊 まもり育てる日の活動 (年3回)

## 八幡浜市いじめ対策委員会の提言

八幡浜市いじめ対策委員会では、平成8年より「三層の情報環流方式」による協議を重ねながら、「いじめのないまちづくり」のための提言を行ってきました。そして、いじめの防止のための様々な取組はもちろんのこと、「あいさつ運動の輪の広がり」「心のふれあいを深める地域活動」「情報通信機器等の取扱いにかかわる指導の充実」などの実践を進め、一定の成果を上げてきました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、児童生徒は、三密を回避するための行動制限を余儀なくされてきました。また、地域においても、様々な地域行事が縮小や中止をされている状況にあります。このような行動制限や交流の減少は、児童生徒の社会性の育成や健全育成に、少なからず影響を与えています。ゲーム機やスマホ等の情報通信機器等への依存傾向が強くなった事例も増えています。

また、虐待や暴力、新型コロナウイルス感染症に起因する差別やいじめ問題も大きな社会問題となっています。

私たちは、これまでの取組やいじめ対策委員会における協議を踏まえ、いじめや児童虐待を未然に防ぐとともに、児童生徒の健全育成を図るため、次の提言をします。それぞれの場で、具体的な実践をお願いします。



〔シトラスリボン〕

## 令和3年度 八幡浜市いじめ対策委員会の提言 ～市民みんなで、「いじめや虐待のないまちづくり」を進めましょう～

《八幡浜市民に向けて》

- (1) あいさつの響くまちをつくりましょう。
- (2) 子どもの安全を確保するとともに、児童虐待防止に努めましょう。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を解消しましょう。※シトラスリボン運動への参加・協力

《家庭に向けて》

家庭教育の充実を図りましょう

- (1) 家庭内対話とふれあいを大切にしましょう。
- (2) 子どもに、情報通信機器の正しい使い方を教えましょう。

《学校に向けて》

集団生活を通して、よりよい人間関係をつくりましょう

- (1) いじめを積極的に認知して、早期解決を図りましょう。
- (2) いじめをなくす集団作りを進めましょう。
- (3) 子どもと向き合う時間を充実させましょう。

《地域社会に向けて》

地域の子どもは地域で育てましょう

- (1) 心のふれあいやつながりを深める地域活動を進めましょう。
- (2) 地域の伝統や文化を子どもたちに継承しましょう。
- (3) 安全な地域環境作りを進めましょう。

《行政に向けて》

「三層情報環流方式」を効果的に機能させていきます

- (1) 学校・家庭・地域社会の活動を側面から支援します。
- (2) 実態把握、課題を踏まえた施策を推進します。

## 情報通信機器等の取扱いにかかわる提言 (R2.2.27)

～ネット社会を生きる子どもたちのために～

### 1 リアル社会の中で、友達や家族と楽しく充実した生活を送らせましょう。

- 家庭や地域、学校で、進んであいさつをしよう。
- 家族の団らん、友達との交流を大切にしよう。
- 夢中になること、打ち込めることを見付けよう。



子どもたちをネットやゲーム等依存から守るためには、日常生活の中に、居場所や活躍できる場を作ることが大切です。そのためには、八幡浜市で力を入れて取り組んできた「あいさつ運動」を一層進め、家族や友人とのふれあい等を豊かにしていくことが望まれます。

### 2 規則正しい生活をさせましょう。

- 「早寝早起き朝ごはん」で、規則正しい生活習慣を身に付けよう。
- 情報通信機器やゲーム機の利用は午後9時までには終わらせよう。

インターネットやゲーム機への依存傾向が強い子どもたちの中には、昼夜逆転や睡眠不足によって、学校や家庭生活に悪影響が出ているケースもあります。そこで、規則正しい生活習慣を徹底させることが大切です。平成26年度末に、八幡浜市いじめ対策委員会において、情報通信機器の利用は午後9時までにするを提言しました。この提言を再確認し、徹底していくことが求められます。

### 3 情報通信機器・ゲーム機利用のための「家庭のルール」を作りましょう。

- 情報通信機器やゲーム機を利用する場合は、時間の上限や使用場所を決めよう。
  - ※ ルールづくりのポイントとして、守れなかったらどうするかということ家族で相談しましょう。
  - ※ 「ノーゲーム・デー」や「ノーネット・デー」を決めて実行しましょう。
- フィルタリング、ペアレンタルコントロールを設定しよう。
  - ※ ペアレンタルコントロールとは、保護者が子どもの利用状況を把握したり安全管理を行ったりすることができる機能のことです。
- 困った問題が起きたら、すぐに大人や関係機関に相談しよう。

令和元年度に実施した調査において、大半の家庭ではルールを作っているものの、そのルールが1～2個しかないことが分かりました。子どもとしっかり相談して、家庭や子どもの実態に合ったルールを決めることや、ペアレンタルコントロールを設定して利用することが求められます。また、ブロックいじめ対策委員会の協議において、「ノー○○・デー」の取組が効果的であるとの報告もあります。特に、被害にあった時に迅速に対応できるよう、常日頃から気軽に相談できる関係を作っておくことも求められます。

## 広報「やわたはま」 つなぐ・つながる

市内の各小・中学校は、健全育成やいじめ・不登校の未然防止等を図るために、様々なつながりを作り、深めてきました。また、コロナ禍にあっても、家庭や地域、関係諸機関との連携を切らすことなく、児童生徒の健全育成等に努めています。各学校の取組の中から、特色ある「つなぐ・つながる」取組を紹介します。

9月 ---- 真穴小	1月 ---- 双岩小
10月 ---- 川の石小	2月 ---- 松蔭小
11月 ---- 保内中	3月 ---- 川上小
12月 ---- 松柏中	<b>お楽しみに!</b>



## ひとりでお悩んでいませんか? お気軽にご相談ください。

☆ 電話相談・来室相談 (八幡浜市教育委員会教育支援室)  
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ110番 (八幡浜市教育委員会教育支援室)  
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ相談ダイヤル24 (愛媛県教育委員会)  
☎ 0120-0-78310 24時間受付

☆ こども電話「ひびき」(チャイルドライン ホットコール・ひびき)  
☎ 0120-99-7777 まいにち 16:00～21:00



☆ 警察安全相談 (八幡浜警察署)  
☎ 0894-22-0110 24時間受付

☆ こどもの人権110番 (法務局)  
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15

☆ 児童相談所全国共通ダイヤル (厚生労働省)  
☎ 189 (いちはやく) 児童虐待通報電話 24時間受付

☆ 18歳までのチャイルドライン(チャイルドライン支援センター)  
☎ 089-917-7797 5と0の付く日 16:00～21:00

